



『ビヴァ・バルセロナ』川嵩 照代 画

## 理 念

- 安心・安全・やすらぎ・心のこもったサービスを提供します。
- 地域・住民・患者から評価・信頼される医療を提供します。
- 絶えざる改善と生涯教育を継続し、職員個々の能力を向上します。

## 運営方針

- 整形外科の専門病院として、良質の医療を提供できるように最善の努力をします。
- 患者、利用者の権利を尊重し、インフォームド・コンセント(説明・同意・納得)を含む安全管理を徹底します。
- 「医は仁ならざるの術、務めて仁をなさんと欲す」の精神を尊重します。
- 社会の変化にしなやかに対応しながら心技態を切磋琢磨し、全人間的な成長を目指します。
- 地域の皆様の健康と生命を守るために最善を尽くします。
- 職業を通じて地域社会に奉仕し、地域の社会的共通資本として認められるように努力します。
- 高齢化社会を迎え、安心・安全と心のこもった医療・介護を提供します。



# 大分県北部・豊前地区における骨粗鬆症治療連携の取り組み

## (第8回大分県北部・豊前地区骨粗鬆症フォーラム

### ～歯科用パノラマ X線写真による骨粗鬆症スクリーニング～)

社会医療法人 玄真堂 川島整形外科病院

院長 川島 眞之



骨粗鬆症とは、骨量が減って弱くなり、骨折しやすくなる病気です。骨折しやすい部位としては手首（橈骨遠位端骨折）や背骨（脊椎圧迫骨折）、股関節（大腿骨近位部骨折）などが挙げられます。骨粗鬆症自体では痛みを感じることが通常ありませんが、転倒するなどのちよつとしたはずみで骨折がおこると、動けなくなったり変形したりするため、固定（ギプスなど）を行ったり、手術を行ったりする必要があります。特に大腿骨近位部骨折では手術をしなければ寝たきりとなり、誤嚥性肺炎や血栓症などで命を落とす可能性が高くなります。また、手術を行っても輸血を要したり、命の危険にさらされたり

する可能性は残存します。これまで当院では永芳クリニック所長が中心となり、中津市医師会や他施設も含め医療・介護などの様々な職種の方と連携して、手術後の患者さんがリハビリをスムーズに継続するための転院や在宅復帰を支援する仕組みである、大腿骨近位部骨折連携パスを立ち上げて活動を行い、実績を積み上げてきました。現在は骨粗鬆症連携パスとして更に幅広く活動しています。一方、骨粗鬆症の中心的な治療薬であるビスホスホネート製剤が、顎骨壊死（骨髄炎）発症を高めるリスクがあるとの報告がなされて以降、本剤で治療中の患者さんが歯科治療を断られたり、本剤の内服中止を促されたりする問題が全国で発生しました。中津市医師会では2017年より歯科医師会、薬剤師会、栄養士会、行政の方と共に骨疾患治療懇話会を立ち上げて、この

ような骨疾患の治療や予防などに関係する様々な問題の解決に向けて、第一線で活躍する講師を招いて講演会を開催し、各会各職種協働で活動し、さらに医療圏を同じくする宇佐市や豊後高田市、福岡県豊前築上地区の各会とも連携を進めてきました。このような流れの中で、医師と歯科医師がお互いに患者の診療情報を共有して、それぞれの治療が継続されるような仕組みを構築したり、お薬手帳に骨粗鬆症注射薬剤名をシールで貼付することにより、施設などに入所しても治療が継続されやすい仕組みを導入したりしました。その後、後者のアイデアは複数の薬剤メーカーでも採用されています。去る3月11日には第8回の懇話会を開催し、特に医科歯科連携で先進的な取り組みをされている呉市の歯科口腔外科医である東森秀年先生より、日常診療でのパノラマX

線写真から骨粗鬆症のスクリーニング（疑い患者の抽出）を行い、骨密度検診を推進する取り組みなどについてご講演頂きました。今までは骨折後に骨密度測定を行い、骨粗鬆症を発見して治療開始し、次の骨折を予防すること（2次予防）が多かったのですが、今後、この取り組みを当地区でも推進して、骨折前から骨粗鬆症の早期診断・治療・予防（1次予防）が進むことにより、この地域での骨折患者さんの減少につながればと強く思いました。





# 大江医家のルーツを巡って

社会医療法人 玄真堂 川瀨整形外科病院

理事長 川瀨 眞人



2021年はコロナに明けコロナに暮れるという日々であったが、年末は恒例の中津の郷土史を愛好する方々と大江医家史料館のルーツである大江家ゆかりの地を巡って中津市内を探訪することとなった。それまでは、この中津の町がどの様に生まれたのか、その詳細は余り明らかにされてこなかった。南北朝の時代に南朝方の後醍醐天皇の皇子である懐良（かねよし）親王



図1. 大江雲澤

が、天皇の名代として九州を治めるため征西將軍宮として九州に上陸し、菊池氏や阿蘇氏の支援のもとに九州南朝方政権を構築していく中で、1358年には、宇佐神宮をも勢力下に治め、1361年に大宰府に征西府を置き、九州を統一するほどの勢いであった。この時、懐良親王の12名の従者の一人・藤原孝範を、当時の中津（豊前）大江郷の郷司（大江孝範）に補任し丸山城に居を定めた。その後大江氏は、室町・戦国時代には大内氏や大友氏に仕えながら地方豪族として命脈を保っていたが、秀吉の九州制圧に伴う黒田官兵衛の豊前封入に際し抵抗勢力

となり、蜷瀨地区を中心に帰農した。その後、江戸時代に入り大江氏本家13代・大江範時は江戸、長崎で医学を学び医者となり、その後代々医家を継ぎ、1717年奥平氏の入封で御典医を務め、幕末には4系統の大江医家が存在した。大江医家の方々の活躍は、これまでも度々述べた様に中津の地域医療のみならず、鷹匠町系の大江雲澤（図1）は、華岡青洲大坂分塾（合水堂）で学び、麻酔学と外科手術を修得し、大江塾、後の中津医学校を1871年に設立し初代校長に就任した。又、京町系の大江春塘は1822年に日本で三番目の和蘭辞書『中津バスタード辞書』の編集者として、国内のみならずヨーロッパにもその名前は知られている。

今回は、京町系大江家から更に分かれた中津市三光西林（まくさ）に居住される大江家の方々とお会いすることができた。宇佐神宮には、大江一族を通じて懐良親王が奉納されたと思われる剣が宝物館に展示されている。私達はまず、大江家の元であった丸山城が存在したと考えられる萱津（かいづ）町に、740年、宇佐神宮に寄進された10郷の一つ大江郷があり、その印として宇佐神宮から勧請された大江八幡宮（図2）を訪れた。更に隣接する八幡宮の別当（社寺）として創建された観定寺（かんじょうじ）を訪れた。観定寺は、平安時代は天台宗の寺院であった。私達は現17世住職大江憲成氏から、その歴史を拝聴することがで

が、天皇の名代として九州を治めるため征西將軍宮として九州に上陸し、菊池氏や阿蘇氏の支援のもとに九州南朝方政権を構築していく中で、1358年には、宇佐神宮をも勢力下に治め、1361年に大宰府に征西府を置き、九州を統一するほどの勢いであった。この時、懐良親王の12名の従者の一人・藤原孝範を、当時の中津（豊前）大江郷の郷司（大江孝範）に補任し丸山城に居を定めた。その後大江氏は、室町・戦国時代には大内氏や大友氏に仕えながら地方豪族として命脈を保っていたが、秀吉の九州制圧に伴う黒田官兵衛の豊前封入に際し抵抗勢力となり、蜷瀨地区を中心に帰農した。その後、江戸時代に入り大江氏本家13代・大江範時は江戸、長崎で医学を学び医者となり、その後代々医家を継ぎ、1717年奥平氏の入封で御典医を務め、幕末には4系統の大江医家が存在した。大江医家の方々の活躍は、これまでも度々述べた様に中津の地域医療のみならず、鷹匠町系の大江雲澤（図1）は、華岡青洲大坂分塾（合水堂）で学び、麻酔学と外科手術を修得し、大江塾、後の中津医学校を1871年に設立し初代校長に就任した。又、京町系の大江春塘は1822年に日本で三番目の和蘭辞書『中津バスタード辞書』の編集者として、国内のみならずヨーロッパにもその名前は知られている。



図2. 大江八幡宮





図3. 大江憲成氏と



図4. 吉祥寺 大江一族最古の墓

この大江風呂を再開した。大江医家史料館に薬草園を造り、そこで栽培した薬草を使い、金色温泉で薬草風呂に入り、蘭学を中心とした郷土史の勉強会を続けてきた。その鷹

匠町で代々御典医を務めていた大江医家の家は、当家9代大江満氏によって中津市に寄付され、大江医家史料館として今日も中津市の数々の貴重な蘭学史料を展示している。それを顕彰する会として「マンダラゲの会」は今なお続けられている。

この様に何代にもわたって大江家の方々が医家として、中津の医療の発展に寄与し、更に中津医学校が後の県立病院となり大分県の医療の発展へと展開するなど驚くべき一族であったことを改めて皆で確認することが出来た。

きた。15世紀後半、浄土真宗へと改宗し、その歴史を語る開基仏（方便法身尊像）が伝えられている。その裏書きには、本願寺宗主実如上人から1505年に下付されたことが記されていると話されていた。ご当主大江憲成氏は、私の中津北高時代の同級生で、京都大学大学院を出られご当主となり、同時に九州大谷短期大学元学長としても活躍されておられた。（図3）大江の名前は古くから存在し、豊かで沢山の人が暮らしてい

た地で大家郷とも呼ばれていた様である。この三角州一帯が大江郷となり、中津祇園の元宮は大江八幡宮であり、後に中津神社に引き継がれ今なお巡行されている。黒田氏の封入に伴い大江家の多くの方々は蛎瀬町一帯に移り住み農家や商家となり、その中から多くの医家が生まれた。明治時代には村役場や尋常高等小学校等も存在していた。大江家の名前を残すものとして、私達の子供の頃、桜町に「大江風呂」があった。

鷹匠町の大江家が、華岡流薬草術を活用して市民の健康維持のため、薬草園から薬草を提供し多くの人達が利用していた。私達は2005年、「マンダラゲの会」の行事として

匠町で代々御典医を務めていた大江医家の家は、当家9代大江満氏によって中津市に寄付され、大江医家史料館として今日も中津市の数々の貴重な蘭学史料を展示している。それを顕彰する会として「マンダラゲの会」は今なお続けられている。

西萩（まきさ）の京町系の別流博元系大江医家の大江典昭氏を訪ね、同氏のご案内で小学校裏地にある地区の墓地を参拝することが出来た。（図6）



図5. 本傳寺 大江雲澤の墓



図6. 大江典昭氏と



# お疲れ様でした



## 退任のご挨拶



医師 豊島 嵩正

この度、今年3月をもちまして川島整形外科病院から北

九州市内の病院に転任することとなりました。この1年間は長いようでとても短く感じる1年でした。

医療は一人で成り立つものではなく、周囲の協力があって初めて成り立つものです。当院で過ごした1年はあらためて常勤の先生方、コメディカルの方々のサポートのありがたみを強く感じる1年となりました。また、当院では医療スタッフが皆熱意をもって医療に参加し、より良い医療

を提供しようとする姿が大変印象的でした。手術、外来など多くの患者様の診療に携わることができて大変多くのことを学ぶことができ充実した時間を過ごすことができました。

最後に、大学での大先輩にあたる古江先生、後藤先生をはじめ指導医の先生方に大変お世話になりました。外来、手術、学会発表など温かく見守り、支えてくださり大変感謝しております。短い期間で少し寂しくも思いますが、ここで学んだことを忘れず、次の赴任先でも真摯に診療に向き合いたいと思います。

## 退任のご挨拶



医師 早田 司

この度、医局人事にて3月をもって川島整形外科病院を退任する運びとなりました。

神奈川出身で、中高大は東京で過ごしたため、大分での生活は初めてで新鮮なことがたくさんありました。また、仕事面でもいままでとは異なり、手術が必要な方だけでなく、保存目的での入院なども経験をさせていただきました。いままでは、手術をした後、回復期病院へ転院したり、施設へ退院した後はそのまま診療が中断することが多かったため、その後の経過や患者様

自身の生活へ戻っていく過程を見ることができませんでした。当院では回復期病棟や、老健、通所リハなどが併設されているため、一人ひとりの生活や状態に合わせて自宅へ復帰するまでを最後まで見届けることができました。

最後になりましたが、指導担当の佐々木先生や、様々な症例でお世話になりました先生方には大変お世話になりました。4月からは埼玉へ戻る形になりますが、この病院での経験で得たものを活かして、いかに手術を成功させるかというこのみにとどまらず、手術をした後のことまで考えて医療を提供できる医師になれるよう、今後も精進していこうと思います。



# 骨の健康を守るために

骨粗鬆症リエゾンサービス委員会

作業療法士

石井

瑛



2021年12月23日、web  
セミナー『Osteoporosis Liaison  
Service Web Conference』が

開催され、当院の骨粗鬆症に  
対する取り組みについて発表  
しました。当院の他、サンラ  
イズ酒井病院、白杵市医師会  
立コスモス病院の取り組みが  
報告されました。地域の特性  
や課題に応じた独自の取り組  
みについて知見を得ることが  
でき有意義な会となりました。  
また、私も世話人として関わ  
る大分県OLSネットワーク  
の会では、2022年1月20  
日にwebセミナーを開催し、  
北九州総合病院による骨粗鬆



症の取り組みについて学ぶ機  
会を得ました。  
骨粗鬆症に関連した骨折発  
生率の低減は、高齢化社会が  
進展した日本にとって喫緊の  
課題です。日本において、骨  
折発生率は年々増加していま  
す。しかし、世界では骨粗鬆  
症の検査、治療、予防を適切  
に行うことで、北欧、北米で  
は骨折発生率は減少に転じて  
います。日本も各国を参考に  
しながら、減少に転じさせる  
ための取り組みが必要です。  
現在、全国的にも骨粗鬆症  
の検査、治療、予防への取り  
組みは十分とは言えません。  
骨の健康を守るために、やる  
べき課題をひとつずつ丁寧  
に対処していかねばなりません。  
当院クリニック外来で  
は、骨密度検査を行っていま  
すので、ご希望の方は職員に  
お声かけください。

Dr.  
コラム



## 子供のスポーツ



医長  
佐々木 聡明

去年は東京オリンピック

ク、今年北京での冬季オ

リンピック、プロ野球やJ

リーグ等のプロスポーツが

開幕し、スポーツが盛んに

行われている今日この頃で

すが、子供の頃からスポー

ツを本格的に始める方々も

多いのではないでしょう

か。子供の頃よりスポーツ

に関わることは素晴らしい

ことであると思いますが、

外来診療において、子供の

スポーツによる障害が多い

のも確かです。不幸にもそ

の障害が将来に影響を及ぼ

すことも少なからず存在しま

す。子供の頃からスポーツを

行うことにおいて、怪我を防

ぐためには「子供と大人の体

は同じではない」ということ

をきちんと理解しておかなけ

ればなりません。まず一つは

「子供の骨や関節は大人よりも

弱い」ということです。子供

には成長するために柔らかい

骨(軟骨)が多く存在するため、

大人よりも強度が弱いと言え

ます。また、もう一つは「骨

と神経と筋肉の成長の度合い

がアンバランス」なことです。

脳からの指令は神経を伝わり

筋肉へ伝達されますが、その

速度は4歳頃には既に大人と

同じ速度になっています。し

かし、骨は15歳ぐらい、筋肉

は20歳ぐらいで大人と同じぐ

らいとなります。すなわち子

供は体は成長できていないの

に、大人と同じぐらいの動

きはできるようになってい

るということになります。

この2つの子供と大人との

違いをきちんと理解した上

で、子供と共に怪我なくス

ポーツを楽しんでいきま

しょう。



# 令和4年度入職式を執り行いました

事務局総務部 副主任 瀬口 清美

玄真堂ホール横の淡いピンク色の桜と、晴れやかに澄み渡るライトブルーの空がまぶしい4月1日、新卒者20名、既卒者8名が入職致しました。

前年度までは、通常の朝礼時に新入職員が参加する簡易な方法でした。しかしながら年々新入職員も増加し朝礼時間内で納めることが難しくなってきたことと、より式典性を高め法人へのロイヤリティを高めてもらおうとの狙いから、今年度より新たな式典の形にチャレンジするに至りました。

理事長をはじめ、当法人の幹部が出席しており、初々しい新入職員も少し緊張をしていた様子ですが、式は滞りなく終わりました。

出席いただいた幹部からも『今までの形式よりもよかった。』との声を頂き、準備に励んだ総務部一同も安堵致しました。

私自身に残ったのは、幹部の方が挨拶の際少しマスクを外され、ご自身の笑顔を見せながら新入職員にお祝いの言葉をかけてあげていたのがとても印象に残りました。マスクを外して顔を見る機会が少なくなった昨今ではありますが、心が温くなる一場面でした。

## 小さなこころ

づくしは新入職員にも伝わっていると聞いています。来年へ向けてより一層、新入職員そして出席した全ての皆様の心に残る入職式を考えていきたいと思っております。



# 第30回院内TQM発表会を終えて

病院リハビリテーション科 理学療法士 橋本 直樹

2022年3月5日(土)

に院内TQM発表会が開催されました。コロナ禍の中、感染対策を十分に行った上で会場をいくつかに分けてリモート形式での発表となりました。今年の発表はTQM発表8チームと研究発表1チームで構成されました。我々は、コロナ禍による面会制限という状況の中で、動画による情報提供という新たな情報伝達手法の開発をテーマに活動しました。患者家族様、ケアマネ、施設



関係者の方が患者様のリハ進行状況や身体状況の把握が今以上にイメージできることで、スムーズな方向性の調整に繋げることができると考えました。コロナ禍という状況に即したテーマでの活動が評価され、見事優勝することができました。今回のTQM活動を通して、沢山の方々に助けて頂き、一つのこと

を成し遂げるのはこんなにも大変なことなのだと思われて気付かされました。TQM活動で学んだ手法は、今後の業務にも活かせていけるスキルだと思っておりますので、より一層精進していきたいと思っております。今回の活動を通して協力をした下さった皆様方、本当にありがとうございました。



関係者の方が患者様のリハ進行状況や身体状況の把握が今以上にイメージできることで、スムーズな方向性の調整に繋げることができると考えました。コロナ禍という状況に即したテーマでの活動が評価され、見事優勝することができました。今回のTQM活動を通して、沢山の方々に助けて頂き、一つのこと



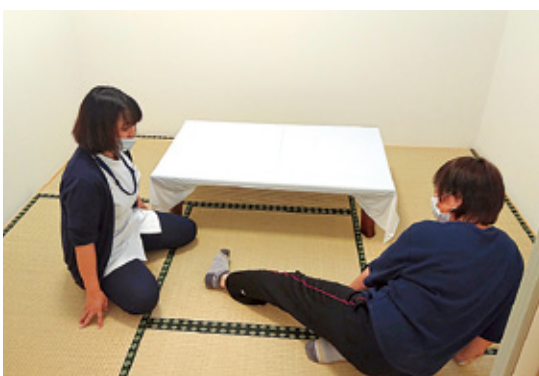




新しい未来を始動させるために  
SDGs(持続可能な開発目標)の取組みを加速させていきます。

そこでは、当法人での環境への取り組みとして、昨年の8月と12月に「MYボトル月間」、11月には「MY箸月間」を設けました。ペットボトルや割り箸の利用を控え、ゴミの削減につなげることを目的としたのですが、持

率率は最高で70%を超え、職員の高さが高かえました。また、並行して、委員会のメンバーによる、各部署のエアコンの設定温度、電気の消し忘れ等のチェックを行ったことで、節電に対する意識の定着化が図れたように感じます。



また、回リハの特色として、一般的な自宅を模造した生活動作練習室を設置し、退院後の生活環境を意識した動作練習も行っています。しかし、退院前訪問で自宅を確認すると、患者さんの生の生活様式や動作をみることでも多くの気づきや新たな



SDGsとは、「Sustainable Development Goals / 持続可能な開発目標」の略で、2015年9月の国連サミットで

# SDGsへの法人での取り組みについて

省資源・省エネルギー委員会  
興 裕 紀子

決められた、国際社会の共通目標です。将来にわたって環境や資源を壊さず維持し続けるための掲げられ、17の目標、169のターゲット(具体的な達成基準)、232の指標から構成されています。

こう聞くととても仰々しく感じますが、その内容は、食に関すること、教育のこと、エネルギーのこと、ジェンダー平等のことなど、私たちにとても身近なことから、普段

## 回復期リハビリテーションの開設2年を迎えて

病院リハビリテーション科 主任 斎藤 直人

2020年4月1日に回復期リハビリテーション(以下…回リハ)病棟が開設し、セラピストは9名から13名となり、2年が経とうとしています。

回リハ病棟では、多職種が連携し患者さんの在宅復帰へ向けて身体機能回復、活動性の向上だけでなく、生活環境や個人的な事情も踏まえつつ支援していくことが必要です。患者さんの多くは高齢で独居の方が多い

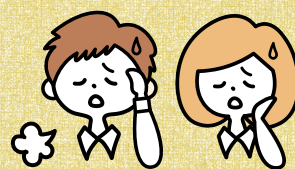
中、多くの方が介護保険サービスを利用しての在宅復帰になります。そのため、私たちを含め多職種が連携し、情報共有・方向性の確認を日々行うようになっています。

課題に直面することもあり、その都度、退院に向けての計画等を修正することも少なくありません。

コロナ禍での現在、患者さんや他職種との関わりにおいて、まだまだ不足している点が多いですが、このような経験を基に、試行錯誤を繰り返しながら、私たち回リハスタッフは患者さんを支えながら、多職種と連携し今後も患者さんのスムーズな在宅復帰を支援していきたいと思っています。



# その疲れ年齢のせいですか？



## 疲労予防・回復のための **食養生**

栄養管理科 管理栄養士 齋藤 潤哉

新型コロナウイルス感染症の流行に伴い、私たちの日常は大きく変化してしまいました。このような生活の変化で、より疲労を感じるようになったのなら…それは「栄養不足」が原因かもしれません。

### 疲労とは

日本疲労学会では「過度の肉体的および精神的活動、または疾病によって生じた独特の不快感と休養の願望を伴う身体の活動能力の減退状態である」と定義しています。

### 疲労回復方法

一般的に疲労回復には、「睡眠」「食事（栄養）」「規則正しい生活リズム」が必要といわれます。今回はこの中から「食事（栄養）」についてみていきたいと思います。

### 疲労全般に効果的な栄養素

疲労を早めに取り除くために、次の栄養素を含む食材を積極的に食生活に取り入れてみましょう。

<b>ビタミンB1</b>	糖質からのエネルギー産生に関与 水溶性で加熱による損失が大きい 糖質の過剰摂取で代謝による必要量が 増え不足が懸念される	
<b>ビタミンB2</b>	タンパク質・脂質・糖質の代謝に関与 乳酸などの疲労原因物質を取り除く際に 必要なビタミン 水溶性であるが加熱による損失は少ない	
<b>カルシウム</b>	筋肉のスムーズな動きを補助 精神的な疲労・ストレスを緩和 慢性的に摂取不足 (ビタミンB2と共に乳製品の摂取不足が影響)	
<b>鉄</b>	体内に酸素を運び疲れやすさを取り除く	



### 肉体疲労時に効果的な栄養素



肉体疲労時には、新陳代謝をスムーズに行うために糖質の利用効率がポイントとなります。この利用効率を高めるために必要となる栄養素がビタミンB1であり、豚肉やうなぎ、大豆に多く含まれます。またビタミンB1はネギやんにんにく、にらなどに含まれるアリシンと同時に摂るとさらに疲労回復効果が高まります。しかし、ビタミンB1は水溶性で、加熱によって失われる割合が大きいため、水洗いや調理により失われてしまう点には注意が必要です。

### 慢性疲労・精神疲労



疲労が慢性的に蓄積した身体には、活性酸素が増え免疫力低下を招きます。慢性疲労時にはこの活性酸素や疲労物質（乳酸）をいかに除去するかがポイントとなります。そのために必要な栄養素は、ビタミンB2、ベータカロテン、ビタミンC、ビタミンEなどです。ビタミンB2は肉類・魚介類・豆類のほか、乳製品や海藻、卵などに豊富に含まれます。水溶性ではありませんが、熱には比較的強い性質のため鍋ものや汁ものなど汁ごと食べられる調理方法がお勧めです。ベータカロテンは緑黄色野菜や果物に多く含まれ抗酸化作用があり、ビタミンCも豊富に含みます。また脂溶性の性質をもつため、緑黄色野菜は油との相性がよく揚げ物や炒め物、サラダなどがお勧めです。ビタミンEはアーモンドなどのナッツ類や魚介類に多く含まれ、抗酸化作用があり野菜や果物を摂ることでさらに効果がアップします。また、柑橘類や酢などに含まれるクエン酸の疲労軽減効果も見逃せません。

### 夏バテなどに代表される季節的な疲労

これから夏に向け、高温や多湿など環境の変化に身体がついていけなくなると、夏バテを代表とし食欲不振や胃腸の不良（消化吸収不良）が現れます。この時、スタミナをつけようと肉やうなぎなどを意識的に摂ると、消化吸収能力が低下している胃腸にさらに負担がかかり逆効果となることがあります。そのため、まずは油の多い部位や食材、消化の悪いものは控え、消化しやすいものを摂るよう心がける必要があります。山芋やオクラなどのネバネバ成分は消化吸収を良くし、胃壁を守る働きや肝機能を高める作用もあります。また、辛味や酸味なども消化吸収を補助する働きがありお勧めですが、使い過ぎには注意が必要です。

### 疲労を緩和する食べ物

疲労を予防・回復するには、好きなものに偏らないよう注意し、苦手なものも摂るよう心がけバランスを取ることが大切となります。さらに、「旬」を意識した食材を取り入れることも大切なポイントとなります。旬の食材は、その季節に必要な栄養成分を多く含み、味もよく安価で使いやすいため積極的に取り入れたいものです。時には惣菜やコンビニも上手く利用しながら、疲労を乗り切るヒントとしてご活用ください。





## カワシマハンドセラピー研究会

- 2021.12.20  
「症例報告」  
川端、永田作業療法士  
「慢性疼痛について」  
杉木リハビリテーション部部長代理
- 2022.1.17  
「症例報告」  
石井、榎木作業療法士  
「手指伸筋腱Zone V, VI縫合術後IPフリースプリントと治療成績」  
岸本リハビリテーション部副主任
- 2022.2.21  
「症例報告」  
杉木リハビリテーション部部長代理・川端作業療法士  
「母指CM関節症」  
奥貞作業療法士

## 川島肩をカタらう会

- 2022.2.28  
「腱板断裂について」  
田畑理学療法士

## 膝関節勉強会

- 2021.12.8  
「小児膝疾患について (discoidやOCDなど)」  
本山副院長
- 2022.1.12  
「当院におけるACL損傷に対する近年の経過報告 これからの展望」  
岩本理学療法士

## 看護部勉強会

- 2021.12.6  
認知症・せん妄の看護
- 2021.12.11  
育成メンバー研修会
- 2022.2.12  
看護部 育成メンバー研修
- 2022.2.26  
新人後期学習会

## 院外発表・講演

- 2021.12.9  
第29回大分人工関節研究会 (大分)  
「オゾンナノバブル水を用いた局所持続洗浄法の治療成績」  
永芳かわしまクリニック所長発表、座長
- 2021.12.11-12  
第142回西日本整形・災害外科学会学術集会 (熊本)  
「第2.3.4.5CM関節脱臼骨折の一例」  
豊島医師発表
- 2021.12.12  
第9回日本マイクロ・ナノバブル学会総会 (Web)  
「整形外科領域におけるマイクロ・ナノバブルの応用」  
川島院長講演
- 2021.12.12  
第24回大分県理学療法士学会 (大分県)  
「専門領域セミナー① 運動器疾患に対する理学療法の変化」  
羽田リハビリテーション部主任司会
- 2021.12.20  
北九州リハビリテーション学院 (福岡県)  
「生活期のリハビリテーションについて」  
中野訪問リハビリテーション科主任講義
- 2021.12.23  
Osteoporosis Liaison Service Web Conference (Web)  
「当院におけるOLSの取り組み」  
石井作業療法士講演

## 院内勉強会

### モーニングセミナー

- 2021.12.17  
「人工関節2021-これまでとこれから-」  
永芳かわしまクリニック所長
- 2022.1.21  
「感染症診療のあれこれ」  
川島院長
- 2022.2.18  
「一年間を振り返って」  
豊島医師



2021.12.7

橈骨遠位端骨折の患者50名における術後合併症とその予後因子の解析

早田医師

2021.12.14

変形性膝関節症に対する他の治療を伴わない間葉系幹細胞の関節内注射システムティックレビューとメタアナリシス

本山副院長

2021.12.28

大腿骨近位部骨折の合併外傷のリスク

古江副院長

2022.1.4

初回セメントレスTKAにおけるバンコマイシンおよびトブラマイシンの関節内投与

川島院長

2022.1.11

骨関節感染症に対するバクテリオファージ治療

渡邊医長

2022.1.25

ロックングプレートを用いた上腕骨近位端骨折の治療の際、カルカースクリューの位置決めにおいて頸体角が鍵となる要因である。

佐々木診療部長

2022.2.1

足関節内骨折における脛骨前外側骨片の病理解剖

後藤診療副部長

2022.2.8

長期ビスホスホネート剤使用からテリパラチド、デノスマブにスイッチした際の比較

豊島医師

2022.2.22

異物除去術の合併症

早田医師

## 論文（共同含）・誌上発表

- 川島真人：玄朴と長英，中津市医師会会報 第63号，35-41，2021
- 岸本進太郎、古江幸博、後藤剛、川島真之：橈骨遠位端骨折における3か月後の橈側転位と握力の関係，日本ハンドセラピー学会誌 第14巻 第2号，87-90，2022



# 第39回 玄真堂友の会

5階病棟看護師 寺嶋 祐佳

令和4年3月26日、第39回

玄真堂友の会を開催しました。

今年も抗原検査、手指消毒

体温測定と感染予防を徹底し

た中で行われました。

ケーナの素敵な演奏で始ま

り、まず川島真人理事長によ

る「オミクロン株感染症と免

疫強化のコツ」、続いて管理栄

養士、深川明美さんより「免

疫力を高める食事」について



の講演が行われました。コロナウイルスの特徴、感染予防だけでなく長寿にも繋がる食事方法について等、多くの知識を得ることができた会となりました。

また、講演中何度か

話に出てきた『ヤーコ

ン』を講演終了後に販

売し、完売しました。

数量限定であったた

め、購入できなかった

方もいらつしやつたの

が残念ではありました

が、それほど今回の講

演で皆様の健康に対す

る意識が向上したのだ

と実感しました。

講演途中で行った肩こり体

操についても、私自身肩こり

に悩まされているため、自宅

や仕事の休憩

中に行いたい

と思います。

川島理事長

の仰っていた

123歳とい

う年齢には届

かないかもし

れませんが、

## お詫びと訂正

2022（令和4）年1月25日発行「ラ・サンテ153号」3ページ「地球環境の激変に思う」医療機関もSDGsを」におきまして、3段目に掲載した写真の説明に誤りがありました。正しくは左記の通りです。

（誤）『北野教授』

（正）『眞野教授』

（誤）『眞野教授』

読者の皆様並びに関係者様にご迷惑をおかけしましたことをお詫びするとともに、ここに訂正させていただきます。



今回の講演で得た知識を生かし、健康で過ごせるようになりていきたいと思います。

## 【患者様の権利と患者様の責務】

患者様は、個人としての尊厳が守られ、平等で最善の医療を受ける権利を有するとともに、医療を効果的にするために守って頂きたい事項があります。

### 〔患者様の権利〕

1. 病気の種類や個人的背景に関係なく、平等に医療を受ける権利があります。
2. 人格は尊重され、医療提供者との相互協力関係のもとで最善の医療を受ける権利があります。
3. 医療に関して十分な説明、情報を求める権利があります。
4. 医療内容について自分で選択し決定する権利があります。
5. 自己の意思に反する医療を拒否する権利があります。
6. 自己の診療記録の開示を求める権利があります。
7. プライバシーや個人情報を保護される権利があります。
8. 健康維持のため教育やサービスを受ける権利があります。
9. 安全を確保される権利があります。

### 〔患者様の責務〕

1. 医療提供者に対し、患者様ご自身の健康に関する情報の提供
2. 他の患者様の療養生活に支障を与えない配慮
3. 早期回復の為、医療提供者が定めた規則の遵守
4. 円滑な医療行為の為の、患者様・ご家族の積極的な医療への参加
5. 早期回復の為の、患者様・ご家族の積極的な医療への参加
6. 診療費の遅滞ない支払い

## 編集後記

私にとって桜やチューリップなど優しい色の花が咲く春は大好きな季節なのですが、花粉症の方にとっては大変な時期なので、少しでも花粉の飛散が例年より少ないといふと思ったりします。この1年は、新型コロナウイルスの為に、いつも通りにはいかない事が多く戸惑うばかりでしたが、たくさんの方々に助けて頂いたおかげでラ・サンテは例年通り発行することが出来てホッとしております。1年間ありがとうございました。次号からは、新メンバーでの作成となりますが、引き続きご愛読頂けると幸いです。（T・T）